

各位

株式会社ディノス・セシール

弊社「セシールオンラインショップ」への不正アクセスと お客様情報流出の可能性に関するお詫びとお知らせ [第2報]

弊社通販サイト「セシールオンラインショップ」において、“なりすまし”による不正アクセスが発生した件について6月6日に公表しておりますが、本日、本不正アクセスに関する外部機関に依頼した調査により本件要因が判明しましたので、以下の通りご報告いたします。

記

1. 本不正アクセス要因に関する調査結果

《不正アクセス概要》

弊社運営の「セシールオンラインショップ」において、6月2日（土）に複数の中国のIPアドレスより、メールアドレス・パスワードを使った不正アクセス1,938件が発生しました。そのうち不正ログインされた490名のお客様情報が第三者に閲覧された可能性があり、また、不正アクセス全件である1,938件のメールアドレスが、「セシール」にご登録中のお客様IDと一致することが判明しました。490名の不正ログインを受けたお客様にはパスワード初期化及びメールにて第1報をご報告済みです。

《今回の不正アクセス要因》

弊社内で顧客情報アクセスログ等を6月6日（水）までに確認したところ、不正なアクセスログは検知されませんでした。同日に外部の調査機関（TIS株式会社）に本件調査を依頼し、本日朝時点で本件は弊社からお客様のメールアドレスが流出したのではなく、「セシールオンラインショップ」の新規顧客登録申請時の二重登録防止機能を悪用した、リストの「スクリーニング」であったことが判明しました。

-外部調査機関によると今回の不正アクセスの手段は、以下の通り考えられるとのことです。

- ① 外部で不正に入手したリストのうちメールアドレスを用いて、弊社ECサイトにて「新規顧客登録申請」を行う。
- ② すでにご登録のあるメールアドレスでは二重に登録ができない機能を悪用し、登録済みのメールアドレスであることを確認。
- ③ 弊社ECサイトで登録済みと確認ができたメールアドレスでリストを生成し、外部で不正に入手してあったパスワードにより不正ログインを試行。

-上記の根拠としては以下の通りです。

- ① 6月2日（土）午前0時頃から、165,038件（※）と通常以上の新規顧客登録申請があった。
- ② うち3,533件（※）については、すでにお客様登録があったため新規顧客登録はできなかった。
- ③ 6月2日（土）午前10時過ぎから不正アクセスを受けた1,938件全てが上記3,533件に含まれていた。
（上記の数字については弊社で調査済みのもの。ただし※については現在精査中であり今後増える可能性があります。）

2. 今後の対応について

- ・不正ログインされたお客様490名に対し、本件要因についても速やかにご連絡。
- ・不正ログインには至らず不正アクセスのみを受けた1,448名のお客様、および今回の調査で明らかになった攻撃者である第三者がスクリーニングによって保有していると思われる、残り1,595件（※）のお客様に対して、本件経緯及び注意喚起をご連絡。（※については現在精査中であり今後増える可能性があります。）
- ・引き続き本件については外部調査機関にて調査を継続。

お客様にはご心配・ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。また、今回のことを厳粛に受け止め、さらなるセキュリティレベル向上策の検討・実施等による、再発防止に努めてまいります。

<本件に関するお客様からのお問合せ先>

セシール コンタクトセンター 0120-70-8888（受付時間：午前9時～午後9時）

<本件に関する報道機関からのお問合せ先>

株式会社ディノス・セシール 広報室 菅谷、本條 Tel：03-6743-1114

以上